

中央会8万社のチカラを結集して

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報

京都府中小企業団体中央会

newsl ine

2010/ 12

第62回 中小企業団体全国大会	1
特集 京都府の労働事情 ①	2~4
再発見! 連携のチカラ No.43 琉球ガラス工芸協業組合(沖縄県)	5
きょうと育児の日	5
京のほんまもん No.16 北山丸太	6
e-Taxをはじめよう!	6
中央会NEWS ・企業組合部会総会・研修会	7
・女性中央会近畿ブロック交流会	7
京都経済お天気	8
女性経営者等懇談会のご案内	8
予告 新年賀詞交歓会	8

第62回 中小企業団体全国大会 ～新たな出発 未来を創る団結力!～

去る11月18日(木)、第62回中小企業団体全国大会が、なら100年会館(奈良県)で開催された。大会には全国から中小企業団体の代表者ら約2,000名が参集、『新たな出発 未来を創る団結力!』を大会キャッチフレーズに、円高、デフレに対する経済対策の実行を求めるとともに、中小企業憲章を具体化する中小企業対策を拡充するよう、中小企業が直面する諸問題の解決と今後の方向性にかかる14項目について決議された。

本会からは渡邊隆夫会長をはじめ60名が参加、組合功労者として、京都府繊維染色工業組合 小谷正夫理事長、京都土木協同組合 植田重男理事長、が全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞された。



全国大会開催記念で開催された奈良中小企業フェア

組合功労者表彰を受賞された
京都府繊維染色(工)小谷理事長
(写真右)、京都土木(協)植田理
事長(右から2人目)

本会では、京都府内の中小企業の経営状況等を的確に把握するため、中小企業の抱える課題を様々な視座から分析し、各事業主・事業所の個性がいかに発揮される環境整備に資するため、昭和39年より「中小企業労働事情実態調査」を実施しています。

ここでは、「平成22年度 中小企業労働事情実態調査報告書」の内容を抜粋し、全2回にわたってご紹介します。

調査概要

1. 調査目的：本調査は、府内中小企業における賃金、労働時間、雇用、経営等の実態を的確に把握し、適正な中小企業労働対策の樹立及び時宜を得た本会支援方針の策定に資することを目的として実施したものである。
2. 調査方法：留置き法による自記式アンケート調査。業種別に対象組合を選定し、調査票を配付。対象組合では従業員数や経営規模等に応じて組合員事業所に再配付し、当該組合で回収したものと、本会宛に直接返送されたものを取りまとめた。
3. 調査実施時期：平成22年7月1日
4. 調査・分析主体：京都府中小企業団体中央会
(集計は全国中小企業団体中央会の一括処理による)

調査結果の内容

1. 経営について

●経営状況が「良い」事業所が増加に転じ、13.8%で過去5年間で最高の数値。

●経営上のあい路の1位は、前年同様「販売不振・受注の減少」。

現在の経営状況を「良い」とする回答が前年度調査までの減少傾向から増加に転じ13.8%の回答率に達した。これは過去5年間で最高の数値である。

経営上のあい路は、上位3項目は前年度調査と変わらず、1位「販売不振・受注の減少」、2位「同業他社との競争激化」、3位「製品価格（販売価格）下落」となっている。

図 現在の経営状況 年次推移

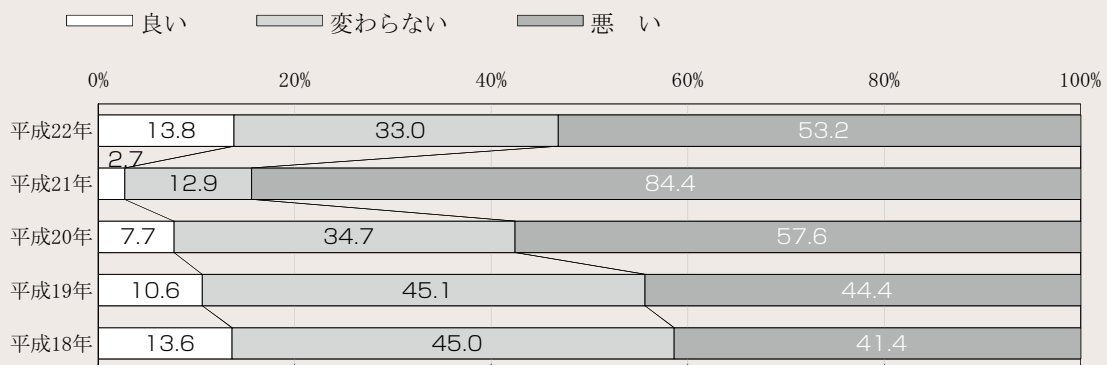
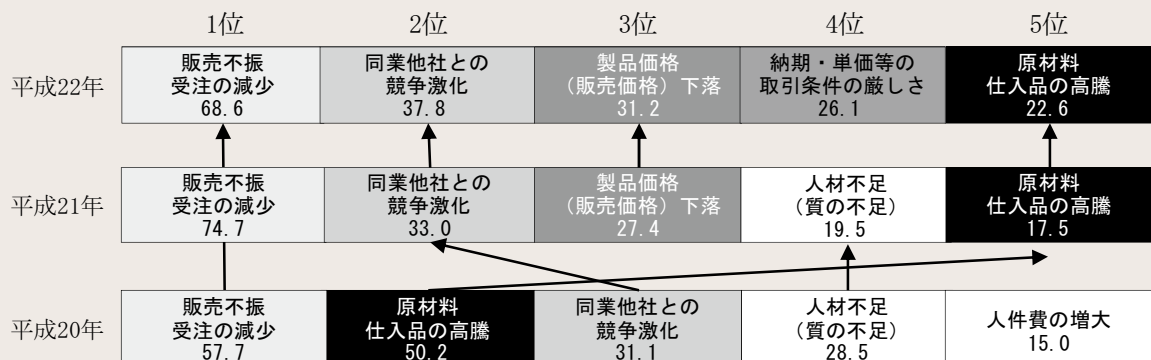


図 経営上のあい路 上位5項目 年次推移 単位：%

* 白色セルの部分は、京都府計（平成22年）の上位5項目に入っていないもの。



2. 従業員数

●従業員数は、性別では「男性」「女性」とも、前年に続き増加傾向がみられる。

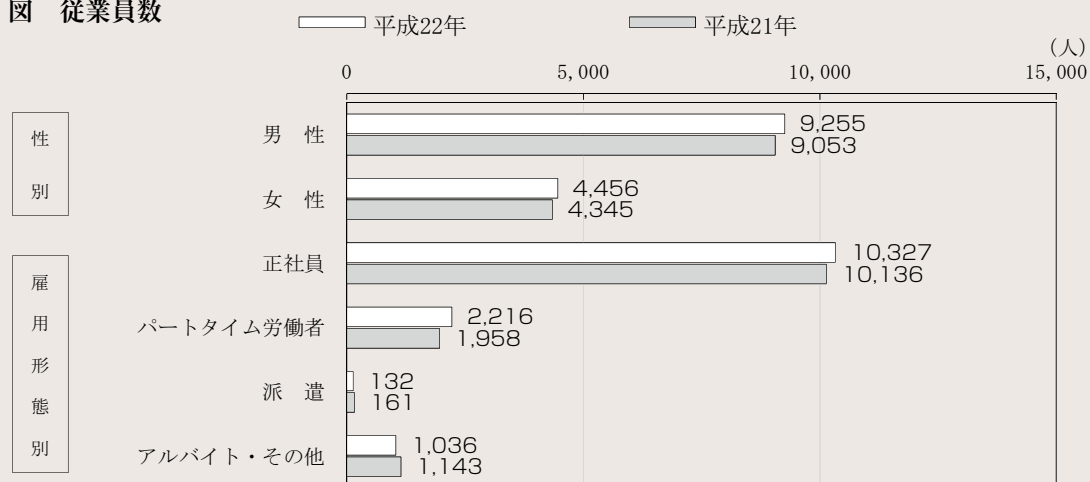
●雇用形態では、「正社員」が2年連続増加傾向にある。

従業員（京都府計）については、性別では「男性」9,255人、「女性」4,456人でいずれも前年度調査より増加している。

雇用形態別では、「正社員」「パートタイム労働者」は2年連続で増加傾向にある。

一方、「派遣」「アルバイト・その他」は微減傾向がみられる。

図 従業員数



3. 従業員の労働時間

(1) 週所定労働時間

●週所定労働時間は、前年に引き続き「40時間」が42.8%で最も多い。

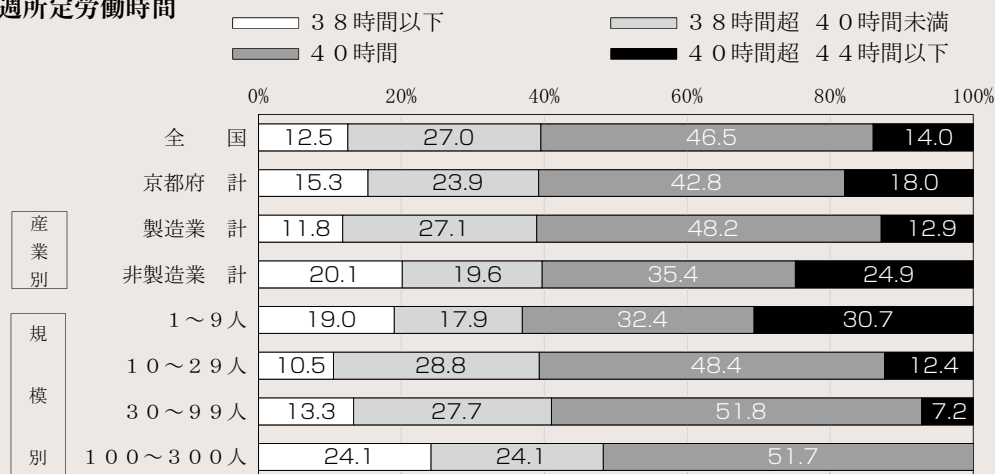
●非製造業は38時間以下と40時間超の回答率が2割台で2極化傾向がみられる。

●規模別では、概ね大規模事業所ほど週所定労働時間が短い。

従業員の週所定労働時間は、京都府計で「40時間」が42.8%で最も多く、次いで「38時間超～40時間未満」（23.9%）、「40時間超～44時間以下」（18.0%）と続き、ほぼ全国平均と同じである。

産業別では、製造業より非製造業の方が「38時間以下」の回答率が高いが、「40時間超～44時間以下」の回答率も高くなっている。規模別にみると、概ね大規模事業所ほど所定労働時間が短い傾向がみられ「100～300人」の大規模事業所では「40時間超～44時間以下」は0%である。

図 週所定労働時間



(2) 有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率

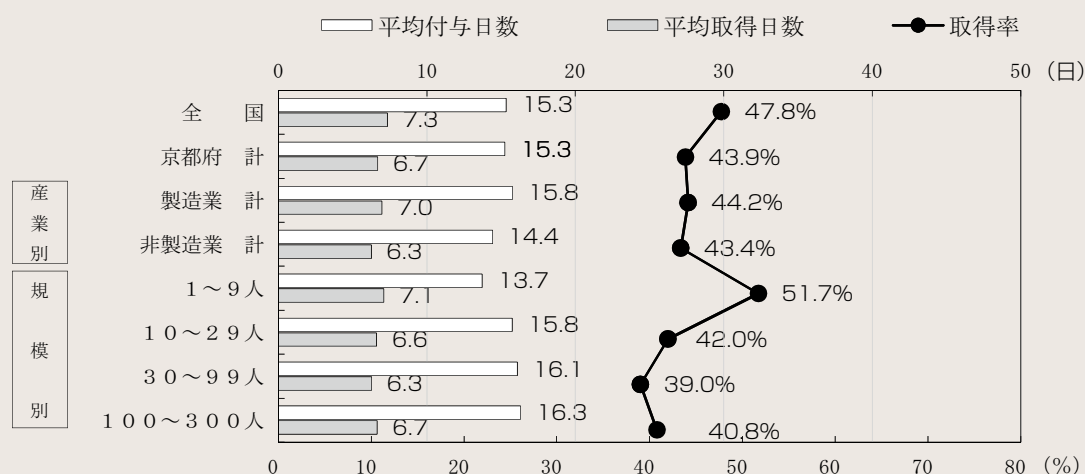
●有給休暇の平均付与日数15.3日、平均取得日数6.7日、取得率43.9%。

●平均付与日数は大規模事業所ほど多いが、取得率は小規模事業所ほど高くなっている。

有給休暇については、京都府計で平均付与日数15.3日、平均取得日数6.7日でほぼ前年並み、取得率は43.9%で前年度調査より1.9ポイント低下している。産業別にみると、平均付与日数は「金属・同製品製造業」「機械器具製造業」「その他の製造業」などで16日を超え、平均取得日数は「木材・木製品製造業」「窯業・土石製品製造業」「その他の製造業」「総合工事業」などで8日を超える。

取得率をみると、「木材・木製品製造業」「窯業・土石製品製造業」「総合工事業」「職別工事業」「設備工事業」などで50%を超える。規模別にみると、平均付与日数は大規模事業所ほど多いが、取得率は小規模事業所ほど高くなっている。

図 有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率



4. 高齢者の雇用について

●高齢者雇用確保措置は「継続雇用制度を導入している」(56.5%)が最も多い。

●継続雇用制度対象者の基準は「希望者全員を対象とし基準は設けていない」(54.5%)が最も多い。

●65歳以上の高齢者を「すでに雇用している」事業所が44.1%。

65歳までの高齢者雇用確保措置への対応状況は、京都府計で「継続雇用制度を導入している」(56.5%)が最も多い。継続雇用制度対象者の基準は「希望者全員を対象とし基準は設けていない」(54.5%)、「就業規則による基準」、「労使協定による基準」の順となっている。65歳以上の高齢者雇用の有無は「すでに65歳以上の人を雇用している」との回答率が44.1%で、全国平均より2.6ポイント高くなっている。

表 高齢者雇用確保措置への対応状況、継続雇用制度対象者の基準、高齢者雇用の有無

	65歳までの高齢者雇用確保措置への対応状況と 継続雇用制度対象者の基準			65歳以上の高齢者雇用の有無		
	継続雇用制度を導入（京都府計：56.5%）			すでに雇用 している	雇用することを 考えていきたい	雇用する 考えはない
	基準は設けて いない	労使協定 による基準	就業規則 による基準			
全 国	53.6	14.3	32.0	41.5	21.2	37.3
京都府 計	54.5	11.6	33.9	44.1	17.7	38.2
製造業 計	53.7	12.1	34.2	46.2	18.6	35.2
非製造業 計	55.9	10.8	33.3	41.2	16.4	42.4
1～9人	77.8	0.0	22.2	33.1	19.0	47.9
10～29人	58.0	10.0	32.0	49.7	19.7	30.6
30～99人	42.9	17.1	40.0	55.3	15.3	29.4
100～300人	33.3	22.2	44.4	44.8	6.9	48.3

海外生産拠点への工芸職人及び技術者派遣と人材育成

琉球ガラス工芸協業組合（沖縄県）

― 背景と目的 ―

手作りゆえにかつては非常に高価であった琉球ガラスを沖縄県民の手に届く日用品としての普及、身近な観光土産品として普及させるべく新たな生産拠点として、1995年、ベトナム社会主義共和国ハノイ市にグループ会社100%出資のベトナム琉球文化工芸村を設立した。ベトナムに海外生産拠点を展開することにより、生産能力の拡充とコストダウンを図り、販売機能の強化をすすめる。

― 事業・活動の内容 ―

海外現地スタッフは常時250名を超える規模でガラス生産工場を運営しており、その維持運営には沖縄からの支援が必要不可欠である。ベトナム工場は手作りの工芸品ガラス生産工場であり、一般的な工業生産物における製造業が抱える問題とは性質を異にする案件が多く、この生産設備の主要な維持管理に関わる問題は、琉球ガラスの技法や溶解釜に使用する耐火煉瓦の性質などベトナム現地とは異なる独自技術が重要となっている。これらを常に管理維持することと同時に、生産施設・設備の抱える問題のみならず伝統工芸品としての側面からは、手作りの技術・芸術性といった「職人の世界」に対する沖縄からの人的支援が必須となっている。グループ会社と連携協力し、定期的に、



①沖縄県工芸士を含むガラス工芸職人、②ガラス生産工場維持管理総合技術者、③ガラス原料調合に関する専門技術者を派遣し続けている。これら指導・実務技術者/職人の派遣は不在期間を発生させる事無く年間を通じて継続実施され、それぞれの技量維持・向上を図り、現地スタッフの人材育成や技術伝承などに努め、当協業組合グループへの良質な製品供給と生産コスト低減に寄与している。

― 成果 ―

当協業組合においては、ベトナムへの「事業の国際展開」により、沖縄工場での高付加価値製品製作、美術芸術作品の創作活動などへの製造比率移行を推進する事が可能になった。平易に製作できる商品は大量に安定的にベトナム工場より入荷できるため、沖縄工場においては、例えば特注の1点もの作品、オーダーメイドのガラス装飾品等の受注を受け入れることが可能となった。単純作業で製作可能な平易な商品の生産要求が減ったため、職人の技術力は向上を続け、沖縄県内の美術展等での入賞のみならず、最高賞の受賞も相次いでいる。平成21年10月現在、琉球ガラス分野において県内の15名の工芸士のうち9名が協業組合を中心に在籍し創作活動を行い、国際事業展開である「人材育成への海外派遣」への貢献及び外資系優良企業表彰・地域社会経済貢献表彰・現地ガラス職人優秀技能者を多数輩出するに至っている。

【組合DATA】

琉球ガラス工芸協業組合
〒901-0345 沖縄県糸満市字福地169番地
☎ 098-997-4784 FAX 098-997-4944
URL <http://www.ryukyu-glass.co.jp>

毎月19日は、

「きょうと育児の日」

きょうと子育て応援事業推進委員会

商工・経済団体、NPO、市町村や京都府などで構成される「きょうと子育て応援事業推進委員会」では、子育ての意義や子育てにおいて家庭が果たす役割、家族の絆の大切さについて府民の皆様にもっと関心を持っていただきたいと、毎月19日を「きょうと育児の日」と制定しました。各団体が連携・協働しながら、家族揃っての食事や対話、父親の育児参加、「ノー残業デー」などを推進していきます。

毎月19日は、家庭で、職場で、地域で、
みんなで子育てについて考えてみませんか。



(京都府知事指定伝統的工芸品・地域団体商標登録)

北山丸太の歴史は、応永年間(1394年-1427年)頃にさかのぼるといわれ、室町中期以降、茶の湯の流行に伴い、数寄屋造りの茶室建築に大いに用いられるようになりました。

一般に北山丸太といわれるものには、北山タルキ、北山磨丸太、面皮丸太、人造絞丸太、天然出絞丸太などがあり、その特色は数多く、とりわけ材質が緻密で木肌が滑らかで光沢があります。また、木肌の色が美しく、変色もなく、亀裂が入らないとされています。

この滑らかな木肌をつくるには、伐採したあとに粗皮をむき、太陽に1週間程さらして乾燥させ木肌に磨きをかけますが、従来地元特産のきめ細やかな砂を使用していたのに変わり、近年は水圧等を利用して表面の光沢を引き出しています。

また、北山丸太は高度の“枝打ち”という技法により均一な太さに仕上げられています。これは、植林後10年を経過した北山杉の枝を3~4年に一度、下の枝から順次切り落とすことにより、幹の成長を止め、切り口と末口の太さの差を少なくする技術で、一本一本心を込めて生産される北山丸太の特徴となっています。

このような優れた特色は、床柱やタルキなど、それぞれの用途に応じてさし木苗の養成のときから、15~40年後の伐採に至るまで、一貫した育林技術が確立されていることによるところが大きいのです。今日の北山林業の繁栄は、こうした先覚者のたゆまぬ情熱や品種改良への努力、また、

耕地が少ないという立地条件により生まれた生活の知恵の結実でもあります。

《森下 武洋専務理事よりひとこと》

北山丸太は、きめ細かな肌、独特の光沢が特徴で、触れて感触を楽しんでいただきたい商品です。床柱やタルキ等に使用される北山丸太は、ライフスタイルや建築様式の変化により出荷量は減少しています。時代は変わっても、木をつくる技術は変わりません。この地域の杉と生産・加工技術により北山丸太となりますが、商品が売れないと事業や技術の継承は難しい状況にあります。

従来の伝統的なものを残す必要がある一方、時代の流れの中で、テーブルやボールペン等のいろいろな商品を製作し、新しい木材の使い方提案等を行っています。引き続き日本全国どこにでもある杉とは違う「北山杉」・「北山丸太」の特徴をPRし、もっと多くの方々に知って頂き、知名度を上げていくことが大事だと感じています。



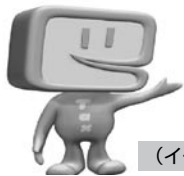
【組合DATA】

京都北山丸太生産協同組合
〒601-0125 京都市北区中川川登74
☎ 075-406-2955 FAX 075-406-2823
URL <http://www.kyotokitayamamaruta.com>

※地域団体商標登録の権利者：京都北山丸太生産協同組合、京北銘木生産協同組合

e-Taxをはじめよう!

～国税電子申告・納税システム(e-Tax)とは～



(イータ君)

- 国税に関する各種手続
 - ①所得税、法人税、消費税、酒税及び印紙税の申告
 - ②全税目の納税(平成21年9月から「ダイレクト納付」開始)
 - ③申請・届出等
- が自宅やオフィスからインターネットを通じて行うことができます!

～ダイレクト納付とは～



(イータ君)

- 事前に税務署に届出等をしておけば、e-Taxを利用して電子申告等の送信をした後に、届出をした預貯金口座から、ワンクリックで納付できる新たな納付手段です。
- ★ 納付手続が簡単(電子申告等の送信後、ワンクリックで納付手続が完了)。
- ★ インターネットバンキングの契約が不要。
- ★ 即時または期日を指定して納付することが可能。

詳しくはe-Taxホームページをご覧ください

イータックス

検索



企業組合部会総会・研究会を開催

本会企業組合部会（部会長：商栄企業組合 貝本 尚専務理事）は、去る11月12日（金）、からすま京都ホテルにおいて部会総会及び運営研究会を開催、28名が出席した。

運営研究会には、京都検定講習会の講師をされている京都学園大学 非常勤講師の堤 勇二氏を講師に招き、「京都検定から見える京都の魅力再発見！」をテーマに、京都の真の魅力について講演を拝聴した。「京都検定受験者の半数は、京都府以外の人を受験しており、京都の歴史や文化に対して他府県の人の関心は高い。歴史・芸術・宗教・景観など京都の本当の魅力や奥深さを知って欲しい。」と祇園祭や五山送り火を支える市民の活動などを例に熱心に話され、長く京都に住む参加者も「知らなかったことが多かった。」と評判であった。

運営研究会終了後、懇親会を開催。本会 大嶋喜好副会長の挨拶と発声により乾杯、出席者相互の歓談・交流が行われた。



平成22年度女性中央会近畿ブロック交流会に参加

去る10月19日（火）、ユアーズホテルフクイ（福井県福井市）において、福井県中央会の女性部組織である福井県レディース中央会の主催により、中央会女性部組織による近畿レベルでの女性の交流・連携を活発にすることを目的に「女性中央会近畿ブロック交流会」が開催された。本会女性部組織である京都府中小企業女性中央会からは、伊庭節子会長をはじめ20名が参加、4府県（大阪府・滋賀県・福井県・京都府）合わせて約100名が参集した。



交流会では、各女性中央会の会長より、本年度の主な活動内容について説明が行われ、各テーブルで活発な情報交換を行った後、福井県立恐竜博物館の見学、曹洞宗大本山永平寺を参拝した。

来年度は、10月20日（木）に大阪府において、全国的女性経営者や組合女性部、組合事務局女性役職員の方々が一同に集う“レディース中央会全国フォーラム”が開催されることから、同フォーラムにて再び集うことを誓い、散会した。

平成24年3月31日
までに他の制度への
移行が必要です！

適格退職年金制度からの移行は、 中退共におまかせください。

すでに2万社を超える中小企業が中退共制度に移行しています。

外部積立型の国の
退職金制度「中退共」なら

- 退職金の管理が簡単！
- 移行にかかわる手数料は不要
- 従業員持分額の全額を引渡金額とすることができます
- 国からの掛金増額助成が受けられます

詳しくは
ホームページを
ご覧ください

中退共

検索

独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6
TEL (03)3436-0151(代表) FAX(03)3436-0400

	業界景況天気図	概 況
全 体	9月 → 10月 	前月同様に景気動向は悪化もしくは足踏み状態となっている。円高・株安・消費低迷・デフレ経済等、中小企業を取り巻く経営環境に不安材料が多い中、各業界・企業において打開策を見出す取り組みが行われているものの、先行き不透明な状況に不安感は増している。
製造業 9月 ↓ 10月	繊維・同製品 	洋装関連に一部の動きはあるが、一時的なものと言える。和装関連は、動きが全く見えてこない。
	出版・印刷 	製本業界では、製本は多種で、美術本・参考書・カタログ・説明書・雑誌・手帳・伝票・カレンダー・和本等がある。その操業度に格差はあるが、前年と比べ低下している。
	鉄鋼・金属 	業界全体で見るとバラツキがあり、先行不透明である。現在のところ資金繰りには問題は無いようであるが、自動車関連ではやはり円高の影響で海外生産に拍車がかかり、受注減と資金繰り悪化が懸念される。
	一般機械等 	継続する円高、低迷する国内市場を背景に大手製造業の海外シフトが加速しており、下請型中小製造業のグローバル展開は避けられない状況にある。海外物件の増加のなか、ロース規制等環境規制の対応が要求される等、環境対策が重要な経営課題になると思われる。
	その他製造業 	プラスチック製品製造業界では、前月に続き持ち直し傾向は鈍化し、足踏み状態が見られる。また、単価安のため収益面では苦しい状況。陶磁器関連製造業界では、売上は年々悪くなり全く回復の見込みがない中、デザイナーとのコラボ作品をつくってみようという試みが始まっている。
非製造業 9月 ↓ 10月	卸 売 	機械器具卸売業界では、e-コマース（EC）によるビジネスがモノ作りユーザーに浸透し始め、着実に業績を伸ばしている。業界内では、ITの活用やweb取引など利用できるコンピューターシステムを導入するとともに、ECにはできない“face to face”の提案営業に努めることを確認し合っている。
	小 売 	自動車小売業界では、エコカー補助金が終了し、新車・中古車販売が激減している。家電エコポイントにの影響を受け、テレビ・冷蔵庫・エアコンの売れ行きは順調に推移しているが、テレビの品切れ問題が生じ、機種（特に小型タイプ）によって納品に間に合うか微妙なところである。
	商店街 	人通りは着実に増えているが売上に繋がらず、10月に入っても消費の低迷は続いている。府北部では、相次ぐ競合大型店等の出店がある福知山市に地域の消費が流出しているように思われ、今後ますます地域商業が脅かされる予測である。
	サービス 	情報サービス業界では、前月同様に、経営環境は非常に厳しい。見積案件は増加しているが、受注見通しは不透明であり、IT系においても事業縮小が余儀なくされている。
	建 設 	増改築に動きはあるが、多額の出費に不安を感じるようで、問い合わせが成約になりにくく伸び悩んでいる。
	運輸・倉庫 	運送業界では、先月9月輸送量は期末月であったためか、対前年に比較して若干増加したが、今月に入りまた需要が鈍くなった。回復が従来型でなく、継続性がなく先行き不透明な状況にある。

快晴 D値 40以上	晴れ 20～40未満	曇り 20未満～△20未満	小雨 △20～△40未満	雨 △40以上
---------------	---------------	------------------	-----------------	------------

女性経営者等 懇談会のご案内

参加費無料
どうぞお気軽に
ご参加下さい

女性経営者、女性経営幹部、組合事務局幹部等の方々を対象に標記懇談会を開催し、更なる活躍の場を挙げ、地場産業・地域経済の発展に繋がるよう、懇談会を開催致しますので、ご多忙のことと存じますが、是非ご参加下さい。

- ・ 日 時 平成23年1月12日(火)午後2時～4時
- ・ 場 所 京都ガーデンパレス 2階「橘」
京都市上京区烏丸通り下長者町上ル
龍前町 605 番地
- ・ 内 容 ①講 演
テーマ 『伝わる！プレゼンテーション術』
講 師 株式会社ウィズネス
代表取締役 本田 妃世 氏
②情報交換

参加申込・お問合せ
京都府中小企業団体中央会 企画調整課
☎ 075-314-7131

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「東寺の五重塔色」です。

予告

平成23年 京都府中小企業団体中央会 新年賀詞交歓会

日 時 平成23年1月4日(火)
午前10時30分～11時30分
場 所 京都ブライトンホテル
1階「慶祥雲の間」

本件に関するお問い合わせ
京都府中小企業団体中央会 総務課 ☎ 075-314-7131

月刊中小企業連携組織活性化情報 協同
12/2010 平成22年12月1日発行 通巻768号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会
京都市右京区西院東中水町17(西大路五条下ル) 京都府中小企業会館4階
☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130
URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp